

健康づくりフロンティア事業の効果

Q 旧大迫町における健康づくりフロンティア事業は、病気の早期発見・早期治療につながり、医療費の削減にも効果が表れていると推察するが、その実績と今後の事業展開について伺う。

A 旧大迫町では、国民健康保険の医療費が県内の平均に比べて少なく、

疾患についても減少傾向にあり、地域住民の健康意識が高揚していると認識している。今後の事業の展開については、関係機関と十分に協議をしながら検討をしていく。

返済状況について伺う。A 早池峰観光の経営そのものが困難であり、地域振興に関する活動の支援、地域における魅力ある活動を推進する目的から資金を貸し付けたものである。貸付条件は、経営計画に基づくもので、当事の町長が必要と認められる経費について支援するものである。償還は単年度であり、当該年度で貸付した分は全額償還され

ている。本市における15の第3セクターについては、改革担当を設置し、改善に向けて検討中である。

石鳥谷駅前土地区画整理の進捗状況

Q 旧石鳥谷町からの事業である石鳥谷駅前地区土地区画整理事業の進捗状況を伺う。

A 本事業は、旧石鳥谷町において、平成5年度から始まり、平成16年度にハード事業が終了し、昨年度は換地計画書を作成した。平成18年度で精算業務を行い、一切の事業を完了する。



平成5年度からの土地区画整理事業で整備された石鳥谷駅前

アグリトピア公社への補助金の内容

Q 旧大迫町におけるアグリトピア公社運営費補助金について、6月補正の内容を伺う。また、この不祥事を招いたことに対する責任をどう取ったのか伺う。

A 公社の借入金の返済に伴う財政支援が4,500万円、関係2社に対する不正取引の損害賠償訴訟の和解金と訴訟費用で9,000万円の運営費補助を行ったものである。責任については、旧大迫町において、社長であった旧大迫町長が減給、公社においては、管理の徹底のため公社内に経営再建委員会を設置しており、不祥事が生じない体制を再構築する努力をしながら、訴訟の責任を取っていく考えである。

萬鉄五郎記念美術館の企画展覧会

Q 旧大迫町における萬鉄五郎記念美術館では、多数の企画展覧会を開催して全国の美術愛好者に高い評価を受けているが、平成17年度の展覧会の開催において特に評価できる内容について伺う。

A 「いわて近代洋画100年展」では色彩、構図、画風等に多くの鑑賞者が

興味を示し、「北に澄む―村上善男展」では、県内外を問わず現代作家等多くの観覧をいただいた。また、「やなせたかしの世界展」では、多くの入館者に夢と感動を与えたと考えている。さらに、美術館がまちの活性化に新たに取り組みだ企画展として「街かど美術館」を開催した。今後も市民が美術や芸術に親しめる企画展、事業を展開していきたい。



市役所本庁舎入口付近に設置されている各種証明書の自動交付機

市民カードの発行状況

Q 市民カードの発行状況と各総合支所での発行について伺う。また、市民カードを持っていない場合の各種証明の交付申請についても併せて伺う。

A 市民カードは、今年3月末現在で25,072人(暗証番号登録者数)に発行している。各総合支所でも発行ができ、暗証番号を登録すれば、自動交付機も利用できる。市民カードを持っていない場合の各種証明の交付申請については、土日

自立支援法施行に向けた準備と支援

Q 自立支援法制度施行準備事業費の内容を伺う。また、各障害者福祉施設等においては、同法の施行で、苦しい施設運営を強いられることが予想されるが、市の支援策について伺う。

A 自立支援法制度施行準備事業費については、障

品目横断的経営対策への加入状況

Q 平成19年度から始まる品目横断的経営安定対策について、これまでの準備期間における活動内容と加入状況について伺う。

A 集落営農については、集落ごとの担当者を決め、関係機関とともに協議や説明会を進めてきたところである。加入状況については、集落営農組織については、74組織が加入予定であり、個別農家については、790の方が認定農業者としての加入を予定している。

大迫・東和高校存続への取り組み

Q 大迫・東和高校の教育振興事業補助金の内容について伺う。また、これまでの成果について伺う。

A 大迫高校については、国際交流事業、クラブ活動の活性化等に係る経費の支援を行っている。同校への入学者数が減少傾向の中にあつて、大迫中学校からの進学率が、低下することなく50%前後で推移していることは、一つの成果であると考えている。

また、東和高校については、東和高校の存続に向けては、東和高校の存続に向けた生徒確保のためのPR事業、クラブ活動を通じた中学校との交流事業等の経費の支援をしている。「東和高校だより」が住民から好評であるほか、広域的な生徒確保事業を展開し、旧大迫町内のみならず、広い範囲から入学者があるという状況は、一つの成果であると考えている。



今年度の街かど美術館での「気仙沼ジュニアジャズオーケストラ」